

ふれあいWORKSHOP通信

第1回 「現況・課題」「公園への思いを共有」

公園でやりたいこと/現況認識と課題の抽出・共有化

1 広場公園の現状を把握する

まず**広場公園の現状について情報を共有**するため、開催イベントの頻度、使われ方、芝生広場の現状、通路、歩行動線の現状、隣接図書館などの周辺土地利用状況について、事務局から説明しました。

2 広場公園についてざっくばらんに出し合おう！

続いて、テーブルに分かれての意見交換。自己紹介も兼ねて広場公園について**日常感じていることを模造紙の上に書き出し整理**してみると、特徴や課題、期待していること、することなどが見えてきました。

3 困っていることから解決策を探ろう！

各テーブルの成果を全体で発表しあうと、みんなが困っていること、解決に必要なことが見えてきました。今後の**ワークショップのミッションとゴール**を全体で共有できたところで、今回は閉会。次回はいよいよ、具体的な内容に入ります。

平成二十三年七月、武蔵境駅南口前に「境南ふれあい広場公園」は、武蔵野市の活性化や南北一体のまちづくりにも寄与し、これまで供用開始から十三年が経過し、利用者及び関係団体とあ

ためて検討するため、境南ふれあい広場公園ワークショップをその第一回が、令和六年七月十三日（土）、武蔵野プレ



境南ふれあい広場公園で
ワークショップがスタート

結果

特に「賑わい」「広場」について多くの意見がありました。

	現況・課題	やりたいこと・提案
賑わい	◎多くのイベントが開催し盛況である（評価できる） ◎面積に対しイベント数が多く芝生を傷めてしまった（問題点） ◎子どもが走りまわって遊べる（評価できる）	★もっと多種多様なイベントを ★子どもの記憶に残るような場所に ★地域に還元できることを
憩い	◎夏は日陰がなく暑く冬は寒い ◎座る場所が少ない ◎木立が少ない ◎買い物帰りなどの休憩の場	★ゆっくり休息 ★くつろぎたい ★四季を感じる公園
管理・運営	◎いつも綺麗 ◎管理者が誰かわからない ◎ルールづくりが必要 ◎飲酒、ハトのエサやりがみられる	★雑草のお手入れなどの住民参加
まちづくり	◎道路との境界がわかりづらい ◎自然（緑）は周囲の樹木で充分 ◎帰宅困難者の一時滞在施設としての機能 ◎プレイスの存在が大切	★立地特性を活かした賑わいづくり
広場	◎土ぼこりが立ち良くない ◎芝生がなくなっているのは良くない ◎他の植物でも良い ◎維持管理の仕方 ◎芝生は無理 ◎遊びにくい	★原っぱの広場 ★芝生でなくてもいいのでは？ ★芝生に座りたい
施設	◎白いスツールが老朽化 ◎一緒に座り語るようなベンチがない	★ベンチやテーブルの設置
動線・利用	◎夕方など自転車通行が危険 ◎自転車利用のルールが分からない	★車椅子の動線

本ワークショップは、平成23年7月の供用開始から13年が経過した「境南ふれあい広場公園」について、そのあるべき姿を改めて検討し、駅前の公共空間に良好な環境を創出することを目的とする、市民・利用者及び関係団体の参画による取り組みです。